第 1 回施策検討ワーキング・グループにおける議論のポイント

平成 22 年 8 月 5 日

◆ 全体（論点 1～3）

- 一般人にも分かりやすい言葉でかつ崇高なメッセージにすべき。また、施策の羅列ではなく、エビデンスに基づきコンパクトにまとめるべき。（松本委員）
- 各章単位で第 3 期基本計画との違いを明確にすべき。（奥村議員）

◆ I 章関連

- 「あるべき将来像」を示した上で、「課題」から「方策」そして「具体的アクションプラン」へと展開すべき。（橋本委員）
- 2 大イノベーションの必要性を示すべき。イノベーションは、経済だけのためではなく社会のために必要であり、基礎研究の蓄積によりイノベーションが起こるという II 章と IV 章の関係を記載すべき。（松本委員）
- 「どのような社会にするか」は大きすぎる問題で、政治の仕事ではないか。環境問題と少子高齢化が成長の阻害要因であり、それらに対して科学・技術がどのように貢献できるかを示すべき。（中鉢議員）
- 科学・技術は、国家の基盤を決める重要な事項であり、戦略・デザインをしっかりと構築すべき。世界における日本の位置を認識し、危機感が表現されることが重要。（下村委員）

◆ II 章関連（論点 4～8、その他）

- グリーン、ライフを優先的に行う理由を加えるべき。（中西委員）
- イノベーション政策を据える理由を明確に示すべき。（相澤議員）
- 各国が成長を目指す中、資源・エネルギー制約など頑張っても出来ない部分もあることを認識し、日本特有の節制型モラル、考え方を組み合わせて考えるべき。（松本委員）
- グリーンとライフは、第 3 期計画の 8 分野の中で、デマンドプルとして格好の領域となっているのではないか。（青木議員）
- 日本だけが強調されており、世界の中での共生という視点を入れるべき。また、科学・技術・イノベーション政策は、公共的な側面を持ち、イノベーションが豊かになるための有力な手段の一つであることを打ち出すべき。（中馬委員）
- 日本らしさや日本のアドバンテージを強調すべき。（橋本委員）
- イノベーション戦略協議会のエッセンスとして、実効性を考慮し、産学官だけではなく民という視点を含めるべき。（松本委員）
- イノベーション戦略協議会は、分野を超えて英知を結集する仕組みの一つとして、一つ上のレイヤーから俯瞰する仕組みが必要ということではないか。（中馬委員）

◆ Ⅲ章関連（論点 9、10、その他）

- 基本方針に第 3 期計画の重点分野と何が異なるかを示すべき。（相澤議員）
- 国際的に優位にある部分を強調するなど、メリハリを付けるべき。（今榮議員）
- 国家の将来像が中心になるべきであり、継続性から基本的な戦略を押さえ、ストーリー性のある表現にすべき。技術の羅列は避けるべき。（松本委員、中鉢議員）
- SWOT分析を行い、強み、弱み、機会、脅威の観点から課題設定すべき。（奥村議員）
- サイエンス形の産業が重要になってきており、その競争力を高める意味では、抽象度を高めることにより、Ⅲに含まれる技術は全て含まれるのではないか。（中馬委員）

◆ Ⅳ章関連（論点 11、その他）

- 大学院も機能分化等を含むある程度の選択と集中が必要ではないか。リサーチ・ユニバーシティとリーディング大学院の併記は避けるべき。（本庶議員）
- リサーチ・ユニバーシティは、研究所を新たに作るのではなく、現状の大学院の機能強化である。リーディング大学院構想は、文科省が検討を行っており、目的が同一ならやり取りも可能ではないか。（相澤議員）
- 「世界トップレベル」の定義を明確にすべき。また、大学院の目的は、研究と教育であるが、日本の大学院ではほとんど研究科となっている。強い人財を育成するのがリーディング大学院ではないか。（松本委員）
- 何を指標として多様性というかを明確にすべき。（中鉢議員）
- 大学院の「教育」という使命を明確にするため、教育研究を「教育・研究」とすべき。「大学院の教育改革」は、具体的に何を定めるかを論点に含めるべき。（奥村議員）
- 数値目標を記載する場合は、理由を明記すべき。（中西委員）
- 評価が前面に出ており、今まで出来なかった人を育てるといった雰囲気欠けているように感じる。（中馬委員）

◆ Ⅴ章関連（論点 12、その他）

- 評価と次年度の予算の連携が重要となる。（奥村議員）
- 自律的にPDCAが回るような促すことが重要であり、評価によりマイナスを付けるのではなく、プラスがあるような制度にすべき。（松本委員）
- PDCAを回すためには、達成すべき目標の数値化が重要であり、沢山の課題の中で must と want を仕分けて、must な課題に数値目標を設定すべき。また、誰がフォローするかを明示すべき。（下村委員）
- 大型研究設備も投資効果をきちんと評価すべき。（中西委員）
- PDCAを回すため、メタで見るレイヤーが重要だが、研究者はキュリオシティ・ドリブンで研究を行っており、自身で社会的価値はほとんど分からない。したがって、そのための見える化が必要であり、第三者による見える化のための制度、仕組み及びその設計が重要となる。（中馬委員）